

# avancer 『アヴァンセ』

令和3年度・第1号

令和3年5月吉日 所長 海老澤政昭

令和3年度がスタートして1か月が経過しました。就労継続支援 B 型で1名、生活介護で2名の新たな仲間が誕生しました。例年、ごうでいんぐでは入所式は実施してなく、各部にてそれぞれ歓迎の小イベントを行なってきましたが、今年度は、新たな生活のスタートとしてささやかな入所式を行いました。仲間、職員たちの手作りの会場にて、やさしい「歓迎のことば」、力強い「誓いの言葉」を聞くことができました。

就労継続支援 B 型では、夏野菜の準備、カフェ活動、事業所委託作業等々に精を出しています。身体が大きく、エネルギーが有り余っている仲間もいるため、毎日の日課として体操と適度な有酸素運動を朝、昼休憩後に取り入れています。農作業における除草作業は比較的座位の姿勢が多く、カフェ活動では逆に立位の姿勢が多くなります。どちらも動きが少ないことは共通しています。一日のエネルギー消費は思っているほど多くはなく、軽めのジョギングや散歩等の有酸素運動が必要である根拠にもなります。また、若いのでよく“食べます”。結果、適正体重をオーバーしてしまいます。労働における持続性や集中力も、まずは基本的な生活習慣が安定することが重要と思っています。しっかりと動き、安定した睡眠が取れるように、当面、この日課を継続していこうと考えています。

以前より職員から果樹栽培を少しやりたい、との希望があり、この4月に、B 型、生活それぞれ2本ずつミカンの苗を植えました。B 型の保護者の協力もあり、農協職員による直接のアドバイスを受けながら植えることができました。実がしっかりつくように今後丁寧に育てていかなければなりません。ミカンが収穫できるのは3～4年先になります。それでも楽しみです。そのまま食べてもよし、加工することも可能でしょう。B 型、生活、それぞれの仲間の工賃の底上げになれば、と思っています。

放課後等デイサービスでは、今年度、高等部3年生が3人在籍しています。進路に向けての一年になります。良き思い出作りと進路選択における支援も行っていきたいと考えています。遠慮なくご相談ください。

新型コロナウイルスは依然として猛威を振っています。保護者の方々には、今まで同様、ご配慮をお願いします。

## 新しい仲間を紹介します



通所生活介護には2名の仲間が入所しました。明るい笑顔に支援員も励まされ、音楽やアート、畑作業に調理実習など、出来ることがどんどん増えていくことが楽しみです。就労継続支援 B 型には1名の仲間が入所しました。カフェの掃除や接客など、新しい就労に緊張の毎日ですが、焦らず楽しみながら過ごしていきたいですね。

### 【編集後記】

令和3年度も岩世ヶ原の様子をお伝えしていきたいと思っています。新型コロナウイルスも変異型という感染力の強い型が流行り始め、東京オリンピック・パラリンピックも政府や医療現場で様々な意見交換がされています。ごうでいんぐ岩世ヶ原では、日々の衛生管理や健康管理に気を付けながら今まで同様過ごしていきたいと思っています。また、ごうでいんぐ岩世ヶ原特製手作りパンの販売も近く予定しております。予約表を配布しますのでご協力よろしくお願いいたします。